

EXHIBITION

特別展 SPECIAL EXHIBITION

Perfume COSTUME MUSEUM

2月22日(土)～6月1日(日)

世界を舞台に第一線で活躍を続けるPerfume。ときに数万人の観衆の前に立つ、あ〜ちゃん、かしゆか、のっちの3人に寄り添い、たくさんの挑戦や喜びをともにしてきたのが、美しく独創的な衣装の数々です。『Perfume COSTUME BOOK 2005～2020』(文化出版局、2020年)を起点に、厳選した約180着の衣装を展示する初めての大規模衣装展となる本展では、3人のメンバーがこの展覧会のために特別に選んだ衣装も展示します。



イサム・ノグチ
〈広島の原爆死没者慰霊碑(1/5模型)〉
1952/1991

被爆80周年記念展 記憶と物

—モニュメント・ミュージアム・アーカイブ—(仮)

Commemoration Exhibition on the atomic bombing 80th anniversary
Memories and Objects:
Monument, Museum, Archive (tentative)

6月21日(土)～9月15日(月・祝)

戦争や原爆の記憶と美術表現との関係をテーマとした展覧会。戦中の銅像やその作り手、戦後に再建された像の例から、それらが関係した記憶の形成、忘却、再構成について考えます。また、モニュメント、ミュージアム、アーカイブといった記憶形成にかかわる物や活動に関心を持ち、主題として取り扱うアーティストによる近年の試みを紹介し、過去を現在との連続性において捉え、過去の営みと対話的に向き合う姿勢について検討します。これらとともに「ヒロシマ」をテーマとした当館コレクションをあわせて紹介することで、表現や制度を通して形成される戦争の記憶、当事者性、過去を継承する可能性についての対話的、建設的な議論と思索の場を提起します。

※記載内容については変更することがあります。(Subject to Change)



鷹野隆大《2023.03.24.sc.#035》 2023

鷹野隆大 カスババ —この日常を生きのびるために—

Takano Ryudai: kasubaba *Living through the ordinary*
9月27日(土)～12月7日(日)

鷹野隆大(1963-)は写真集『IN MY ROOM』(2005)で第31回木村伊兵衛賞を受賞し、現在も国内外で活躍を続ける写真家、アーティストです。鷹野はセクシュアリティをテーマにした作品と並行し、〈毎日写真〉や〈カスババ〉といった日常的なスナップショットを手がけ、さらに東日本大震災以降は「影」を被写体とした、写真の根源に迫るテーマにも取り組んでいます。本展のタイトルである〈カスババ〉とは鷹野による造語で、カスのような場所(バ)の複数形です。初公開作品を含む鷹野の軌跡を概観する本展は、出口が見えなくなりつつあるこの日常を生きのびるヒントとなることでしょう。



エイドリアン・バーグ
〈シェフィールド公園1985～86年秋〉
1985～1986

エイドリアン・バーグ展(仮)

Adrian Berg (tentative)

2026年1月24日(土)～4月12日(日)

20世紀後半のイギリス美術を代表する画家のひとり、エイドリアン・バーグ(1929-2011)を紹介します。遠近法や従来の色彩理論にはとらわれない独自のスタイルで風景画を描きつづけ、とくに1961年からの約30年間は自宅のテラスから見える王立公園リージェンツ・パークをもっぱらの主題として風景画の再構築に挑みました。イギリスからの日本初公開作品を軸に、当館所蔵の《シェフィールド公園1985～86年秋》等もくわえて、バーグの画業を振り返ります。



グンヴァル・オリン・グロングサイスト(デザイン)によるマグとピッチャーのセット 1950年代
Photo: Majja Holma

フィンランド・スピリット サウナ展

Finland SPIRIT: Sauna

2026年3月14日(土)～6月28日(日)

日本でもブームが定着したサウナ。その発祥は約2,000年前のフィンランドと言われています。サウナに宿る精をもてなすとその家に繁栄がもたらされるという古くからの民話がいまも生きるフィンランドでは、サウナは社交場としても定着し、フィンランド人の生活文化に欠かせないものとなりました。本展ではサウナにまつわる歴史や文化をひも解くとともに、アルヴァ・アアルトをはじめとした北欧デザイナーとサウナの関わりも紹介します。

コレクション展 COLLECTION EXHIBITION

コレクション展2025-I

Collection Exhibition 2025-I

4月26日(土)～8月24日(日)



コレクション展2023-I会場風景
Photo: Kenichi Hanada

コレクション展2025-II

Collection Exhibition 2025-II

9月6日(土)～2026年2月1日(日)

コレクション展2025-III+コレクション・リレーションズ

Collection Exhibition 2025-III + Collection Relations

2026年2月14日(土)～6月7日(日)

当館コレクションを代表する選りすぐりの作品群を紹介する「ハイライト」と、土地としての広島と被爆地としての歴史を表象するヒロシマの交差点を探索「広島／ヒロシマ」の二部構成で展開します。また第3期には、コレクション展示を拡張させる試みとして、ゲストアーティストを迎えての関連資料や特別出品を交えた企画「コレクション・リレーションズ」を実施します。

OPEN PROGRAM

オープン・プログラム OPEN PROGRAM

もかけん(もっとかわっていくための検討会議)

mocaken: meetings for more change in the museum

だれもが安心して美術表現に親しめる場所となることをめざして、ワークショップやオープンな勉強会のプログラムを実施します。今年度のテーマは、昨年度から引き続き「からだ」。研究者やアーティストを交えながら、その多様さや豊かさについて参加者とともに学びます。

もかけん運動展示 ふれる、ほどける、トーン！(仮)

mocaken Exhibition Tones: touching and untangling! (tentative)

9月27日(土)～2026年1月12日(月・祝)

関わり合いの方法について考えるきっかけを与えてくれる4組の作家(大崎晴地、ジダーノワ・アリーナ、福田恵、MAGNET)を紹介します。彼らの作品は、個々の人間が持つ世界の豊かさを想像させ、異なる背景を持つ者同士のコミュニケーションの方法について気づきをもたらしてくれるでしょう。



大崎晴地《エアードネル》 2013

Hiroshima MoCa FIVE 25/26

12月20日(土)～2026年3月1日(日)

アーティストを目指す人たちの支援を目的にリニューアルした公募展の第2回目。入選者5組によるフレッシュな表現をご覧ください。※応募要項やテーマは6月頃にウェブサイト上发表します。



Hiroshima
MoCa
FIVE 25/26



前回展示風景 Photo: Kenichi Hanada

モカモカ・ワークショップ

mocamoca Workshop

日時: 毎週日曜日 10:00～16:30

場所: 多目的スペース「モカモカ」

※参加無料、事前申込不要(随時受付)



フランス出身のデザイン・ユニット2m26が制作した可動式ワークショップステーション「ツールボックス」がお出迎え。用意してある材料を使って、お絵かきや工作を自由に楽しめます。

メディアライブラリー・旧テレフォンブース

本や映像を思い思いに楽しめるメディアライブラリーと、かつて公衆電話が置かれていて今は展示ブースとなった旧テレフォンブース。このスペースをいかした小企画を随時実施します。

HIROSHIMA

MOCA



SCHEDULE

APR. 2025 -

- MAR. 2026

広島市現代美術館 スケジュール

2025.04 → 2026.03



広島の中で言えば

In Hiroshima, if I said I was the guy that made

被爆80周年記念展 記憶と物—モニュメント・ミュージアム・アーカイブ—(仮)
黒田大スケ「彫刻家達」より〈上田のためのプラクティス〉(部分) 2023 カラー、サウンド © Daisuke Kuroda

SCHEDULE

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
特別展	Perfume Costume Museum		1	21	被爆80周年記念展 記憶と物 —モニュメント・ミュージアム・アーカイブ—(仮) Commemoration Exhibition on the atomic bombing 80th anniversary Memories and Objects: Monument, Museum, Archive (tentative)		15	27	鷹野隆大 カサブバ —この日常を生きるのびるために— Takano Ryudai: kasubaba Living through the ordinary		7	24	特別展
オブジェ・プログラム・コレクション展							27	もかけん運動展示 ふれる、ほどける、トーン! (仮) mocaken Exhibition Tones: touching and untangling! (tentative)		12			オブジェ・プログラム・コレクション展
	26	コレクション展 2025-I Collection Exhibition 2025-I		24	6	コレクション展 2025-II Collection Exhibition 2025-II				1	14	コレクション展 2025-III + コレクション・リレーションズ Collection Exhibition 2025-III + Collection Relations	

MUSEUM INFORMATION

鑑賞サポート Viewing Support

アートナビゲーター

展覧会を見ている時に、作家や作品についてもっと知りたいと思ったら、展示室にいる  マークをつけたスタッフ「アートナビゲーター」に気軽に話しかけてみてください。

アートナビ・ツアー 要展覧会チケット

アートナビゲーターが展覧会の解説をします。

○開催日／毎週土・日・祝休日

【午前の部】A展示室 11:00～※、B展示室 11:45～

【午後の部】A展示室 14:00～、B展示室 14:45～

○所要時間／30分程度

※第1日曜日は「いどばた鑑賞会」になります。

対話しながらみる、いどばた鑑賞会 要展覧会チケット

作品の印象などを参加者同士で話しながら、一緒に鑑賞します。

○開催日／毎月第1日曜日 10:30～ ※コレクション展開催時

○会場／A展示室(コレクション展)

○所要時間／60分程度 ○定員／先着6名程度(当日受付)

ベビーカー アートナビ・ツアー 要展覧会チケット

小さな子どもと保護者でゆったり作品を鑑賞します。

○開催日／毎週水曜日 10:30～ ※コレクション展開催時

○会場／A展示室(コレクション展) ○所要時間／30分程度

○定員／3組程度(ウェブ予約、定員に空きがある場合は当日も受付)

施設 Facility

カフェ「KAZE」

彫刻の広場に面した、窓から差し込む光が印象的な空間で、美術館らしい彩り豊かな一皿をお楽しみください。天気の良い日は屋外テラスもご利用いただけます。

※テイクアウト、デリバリーあり
(tel. 082-258-5452)

ミュージアムショップ「339」

約33.9mの細長い空間が特徴的。展覧会やコレクションに関連したグッズや広島のデザイナー、工芸作家によるアイテムが充実。入口横にある「339」カウンターでは、POPUP企画を開催。オンラインショップでは、特別展の前売券も販売しています。



339

オンラインショップ「339」

作品解説アプリ「ポケット学芸員」

美術館に展示しているコレクションの作品解説をアプリからご覧いただけます。



メディアライブラリー

美術に関する図書を閲覧できるコーナーです。無料の展示や映像作品上映、イベントも不定期開催。

多目的スペース「モカモカ」

ワークショップやイベント、展示などが行われる他、常時開放しているスペースです。毎週日曜日には「モカモカ・ワークショップ」を開催。

キッズスペース

ミュージアムショップの奥に、キッズスペースを設けています。親子で一緒に過ごせる空間です。

だれでも多目的トイレ

車いすユーザーの方、乳幼児をお連れの方、オストメイトの方など、誰でもお使いいただけます。

ベビーケアルーム

おむつ交換台などを備えています。ご利用の際は受付にお知らせください。

彫刻の広場 Sculpture Garden

美術館周辺にはたくさんの彫刻作品が展示されています。マップを片手に作品鑑賞をお楽しみください。作品シールを貼りながら鑑賞ができる「シール付マップ」も配布中。



各種サービス Service

- 受付にて「車いす」「ベビーカー」の貸し出しを行っています。
- 受付にて筆談ボード、点字マップなどをご用意しています。
- 盲導犬・聴導犬・介助犬も一緒に入館できます。
- 託児サービスについては、事前にお問い合わせください。
- 館内フリー WiFi (hmoca_free)

美術館がもっと近くなる！ ミュージアムパスポート「モカパス」 Museum Passport MOCA PASS

広島市現代美術館の展覧会を何度でもみられるお得なパスポート！カフェやミュージアムショップでの割引や連携美術館・博物館の観覧料割引など、うれしい特典がいっぱい。

- 料金／一般3,300円、大学生2,400円、高校生・65歳以上1,650円
- 有効期限／1年間(4月1日～3月31日)
- 販売／広島市現代美術館・受付

中学生のための「モカパスJunior」

来館回数に応じて過去の展覧会図録がもらえるスタンプカード。

- 料金／無料
- 有効期限／卒業年度の3月31日まで
- 申込方法／広島市現代美術館・受付にてお申し込みください。



利用案内 GENERAL INFORMATION

開館時間 10:00～17:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 月曜日、12月27日～1月1日 ※月曜日が祝休日にあたる場合はその翌平日

観覧料 ※()内は30人以上の団体料金

【コレクション展】一般 350(250)円、大学生 250(150)円、高校生・65歳以上 150(100)円、中学生以下無料

【特別展】展覧会により異なります

※原爆被害者章、身体障害者手帳はかをお持ちの方は無料

【ハロー! コレクションデー】毎月第3日曜日:コレクション展無料

【こどもの日】5月5日:高校生以下無料

【文化の日】11月3日:全館無料

アクセス ACCESS

広島駅から

【路面電車】「広島港」行き▶「比治山下」下車、徒歩約500m

【バス】「まちのわループ(右回り)」もしくは「大学病院」「旭町」「県病院」行きバス▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約700m

【タクシー】約10分 【徒歩】約25分

紙屋町または八丁堀から

【バス】23-1番系統「大学病院(比治山トンネル経由)」行き▶「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約550m

その他

市内循環バス「ひろしま めいぶる〜ぶ」(オレンジルート)

▶「現代美術館前」下車、約100m

広島市シェアサイクル「びーすくる」

▶「比治山公園」ポートより、約100m

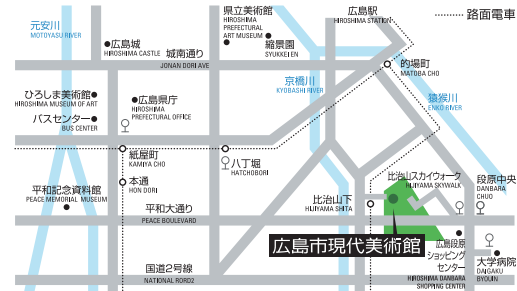
広島市現代美術館ミュージアムショップ「339」にて「1日バス」「午後バス」を販売中

駐車場

美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。

○比治山公園内(約120台分、無料、利用時間9:00～19:00)

○広島段原ショッピングセンター駐車場(1階サービスカウンターに当館の入館証提示で当日に限り3時間無料)



広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art
〒732-0815 広島市南区比治山公園1-1
tel. 082-264-1121 fax. 082-264-1198
www.hiroshima-moca.jp

